

人々の夢と豊かな暮らしを支える、 気概と歓び



三洋興熱
株式会社

〒080-0018 富山市西8条南丁目1
TEL:0155-22-1211 FAX:0155-23-2115
<http://www.eco-sanyo.co.jp> [企画室]
e-mail: hirokazusasa@eco-sanyo.co.jp

企画情報

新着情報
空調設備工事
給水機器工事
給油/卸売
プロパンガス/卸売
生活関連機器/卸売



ワークフロー
ページ
企業ページ



設備事業部
三原 康幸さん
■入社5年目

富山の高校を卒業後、千葉の大手に進学し就職。転勤がなく落ち着いた生活を送りながら、子どもをのびのび育てたいと思い転勤へ。「就職の決め手は社長です。『この人と一緒に働きたい』と思って」現在は営業担当として精力的に走り回る日々。「出来上がったものをお客様に喜んでもうらうときが、一番うれしいですね」。思い切って移住、転勤して良かったと話す姿はいきいきとしていた。

暖

房器具の灯油・車のガソリン、施設の空調設備…普段はあまり意識しないかもしれないが、私たちの暮らしは、たくさんのエネルギーによって成り立っている。1949年創業の三洋興熱もまた、そんなエネルギーを扱う老舗企業。こう書くとどこでなく広いイメージを持たれかねないが、実際はむしろ地元で活動する会社だ。訪れた事務所で明るい笑顔と共に迎えてくれたスタッフの姿は、心中までじんわりと温めてくれる。【エネルギー】は、人が人らしく暮らしていくために欠かせないものです。同じように「エネルギー」もまた、人々の活動の原動力となる大切なエネルギーなんですよ。メガネ

に「夢」もまた、人が人らしく暮らしていくために欠かせないものです。同じように「エネルギー」は、人が人らしく暮らしていくために欠かせないものです。同じように「エネルギー」もまた、人々の活動の原動力となる大切なエネルギーなんですよ。メガネ

写真上・右下・設備事業部では冷暖房、空調、衛生設備工事を担当。細かい数字でできり書き込まれたノート元に現実の状況を確認していく。三原さんと営業代理人の秋山謙祐さん。
写真左下／プロパンガス・ストーブ、ボイラ、家庭電化製品などを行なうホームライフ事業部。会議の場も活気ある雰囲気が飛び交う。



「笑顔が詠みになりました。いつまでも忘れないで」という、退職した社員からのメッセージが忘れられないと語ってくれた佐井社長。笑顔のマナー研修など、ホスピタリティの向上に意欲的。経営理念とは別に、その年の会社の向こう性をテーマとしているように感じている。本年度は「スマイル&ハイオリティ」とのこと。

「良い仕事をして、お客様に『三洋さんで良かった』いい人が揃ってるね」と言つてもらえたことが、本当にうれしいです。そのためには「安心」や「安全」を提供するための高い技術力が絶対の条件だ。そのため、まずは「クライアントに感動を届けること」、地域社会をより豊かにしていくことこそが、三洋興熱の「仕事」なのだという。

の奥の壁を柔らかく和ませて、そんな風に話してくれたのは2代目社長の佐井祐三さん。仕事をもプライベートでも、夢を持つ情熱を傾けることができるスタッフだからこそ、クライアントの心からの信頼を得られるというのが、佐井さんの考え方だ。

「良い仕事をして、お客様に『三洋さんで良かった』いい人が揃ってるね」と言つてもらえたことが、本当にうれしいです。そのためには「安心」や「安全」を提供するための高い技術力が絶対の条件だ。そのため、まずは「クライアントに感動を届けること」、地域社会をより豊かにしていくことこそが、三洋興熱の「仕事」なのだという。

このスタッフには、U-Iターン者の姿も多い。これは、いろいろな個性、経験を持つ人が力を発揮できる社風づくりがあつてのことだろう。特に若手のスタッフには、もっと自分を出すようになって、伝えてくださいを知ることは、より良いことだ。例えは三洋興熱では、役職の上下に関係なく全員が自由に発言できる場づくりをするなど、さまざまな取り組みが始まっているそうだ。コミュニケーションを通してお互いを知ることは、より良いチームワークやクライアントとのいっそくの信頼関係を形づくっていくことだ。どうぞ、ここは自分自身を活かせる職場何より、「ここは自分自身を活かせる職場」についている考え方がある。成功も失敗も、思い切ってことだ。特に若手のスタッフには、もっと自分を出すようになって、伝えてくださいを知ることは、より良いことだ。例えは三洋興熱では、役職の上下に関係なく全員が自由に発言できる場づくりをするなど、さまざまな取り組みが始まっているそうだ。コミュニケーションを通してお互いを知ることは、より良いチームワークやクライアントとのいっそくの信頼関係を形づくっていくことだ。どうぞ、ここは自分自身を活かせる職場

暮らしに必要ないろいろなエネルギーを扱う三洋興熱には、大きく分けて3つの部



ガソリンの給油、自動車整備などを担うのはカラーライフ＆エネルギー事業部。整備場では車検の完成検査が行われていた。洗車も手作業で丁寧に。



写真上・右下・設備事業部では冷暖房、空調、衛生設備工事を担当。細かい数字でできり書き込まれたノート元に現実の状況を確認していく。三原さんと営業代理人の秋山謙祐さん。
写真左下／プロパンガス・ストーブ、ボイラ、家庭電化製品などを行なうホームライフ事業部。会議の場も活気ある雰囲気が飛び交う。

門がある。石油の販売と車両メンテナンスなどを手行い、カラーライフ＆エネルギー事業部。プロパンガスの販売など、住みよい家庭環境を提供するホームライフ事業部。そして、建物の空調衛生設備などの工事を受け持つ設備事業部。そのすべてにおいて、お客様や仲間と共に在りうとする真摯な思いが、ただモノを売るだけではない。「温もりのある仕事」をつくっていくのだ。

また、近年は環境関連事業にも力を入れているとのことで、地元スーパーのリニューアルにあたって省エネ設備の導入にも携わった。地中熱を利用することによる冷暖房効率のアップや、太陽光と空気熱を利用した、給湯システムの効率化。これにより見える形で提示することで、傷へんたちの省エネに対する意識向上にもつながっている。こういった視点は、これまでの十勝を考えるうえで、なくてはならないものとなっていくだろう。

「私たちが目指すのは、豊かで夢のある地域」。本気のエネルギーで臨んだ仕事が、地域の人々の暮らしを豊かにする。そこで生まれた「幸せ」のエネルギーが地域を元気にし、夢を持って日々を送ることのできる土台を築いていく。そんな循環を自らの手でつくる」という実感と歓び。三洋興熱の熱いエネルギーを、ひしひしと感じた。